

健康果実 青森りんご

 は青森県で誕生した品種です

おとめ
アルプス乙女



中生種

「りんご飴」などでお馴染みの品種です。小さいですが、甘さと酸味もしっかりあります。

おいらせ



中生種

大玉で果皮は濃紅色です。甘みが強く、香りもあります。蜜が霜降り肉のように細かく入るのが特徴です。

きたくれない
北紅



中生種

形は扁円系で果皮は濃い紅色。完熟すると蜜が入りやすく、香りがある果汁豊富です。

くれない ゆめ
紅の夢



※果肉の色には個体差があります

中生種

果肉が赤い品種。果肉の美しさを生かしてスイーツなどに活用されています。酸っぱいですが渋みはなく、生食でも美味しく食べられます。

こいぞら
恋空



極早生種

青森県ではお盆の頃に収穫されます。果皮は濃紅色で夏りんご特有の爽やかな食味です。「恋空」という名前は、映画のタイトルからです。

こうぎよく
紅玉



中生種

青森県では明治時代から栽培されている品種です。小玉で酸味があり、アップルパイなど製菓用として人気があります。

こうとく



※蜜の割合には個体差があります

晩生種

小玉で香りが良く、蜜が入ります。多いものは果肉全体の7~8割に蜜が入るものもあり、究極の蜜入りりんごとも言われます。

シナノスイート



中生種

長野県が育成した代表品種の一つですが、青森県でも多く栽培されています。サクサクとした食感と甘さ、果汁の多さが魅力です。

ジョナゴールド



※画像は有袋栽培

中生種

紅玉の子供にあたる品種で、爽やかな酸味があります。青森県では、貯蔵性に優れた有袋栽培のものが翌夏まで販売されます。

せかいいち
世界一



中生種

標準サイズが500g程度と非常に大玉の品種です。果肉はやや硬めで、果汁が豊富。ほのかな酸味があります。

だいこうえい
大紅栄



晩生種

大玉の円形、果皮は濃紅色で高級感のある見た目です。海外でも贈答用として人気があります。味は甘みを強く感じます。

ちゆき
千雪



※カットして3日目の果肉

中生種

「切っても果肉が茶色く褐変しない」という画期的な特徴を持った品種です。非常に香りが良く、上品な甘さです。

つがる



早生種

9月に収穫される青森りんごの代表的な早生品種です。酸味はなく優しい甘さと果汁の多さが特徴です。

ふじ（サンふじ）



晩生種

袋をかけず栽培するため、甘みが強く、蜜が入りやすい品種です。青森りんごで最高の人気と生産量を誇る「りんごの王様」です。

ふじ（有袋ふじ）



晩生種

「ふじ」に袋をかけて栽培したもの。貯蔵性に優れているため、春までは冷蔵庫で眠らせ、春から夏に販売されます。